

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



「湖北MAGIC」で開くカフェ～生徒ホールにて



浜松湖北高等学校



学校のマスコットキャラクター「こほくま」



2017年度金融教育公開授業「家庭基礎」の様子



静岡県立浜松湖北高等学校

静岡県立浜松湖北高等学校は、NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の舞台となった浜松市北区井伊谷のすぐ南に位置し、引佐、気賀、三ヶ日の3校を統合して平成27年に開校した新しい学校です。全国的にも珍しく普通科と三つの専門学科（農業科、工業科、商業科）を設置しており、4学科連携組織「湖北MAGIC」^(注)において全校的に様々なプロジェクトに取り組んでいます。

本校は、平成28年から2年間、静岡県金融広報委員会から金融教育研究校の委嘱を受け、(1)「将来考えられる様々なリスクや消費者問題などの事態に対処する知識や技能を身に付けることによって、より良い生活設計を立て自立する力を養う」、(2)「金融や経済の仕組みを学び、社会に貢献できる態度を身に付ける」の二つをテーマにすべての教科において研究・実践を行いました。例えば、生徒たちは

「市場経済の仕組み」（現代社会）、「環境を破壊する損害はいくら？」（生物基礎）、「ライフスタイルと収支」（家庭基礎）など、家計管理や消費生活に関することを授業で学びました。さらに「湖北MAGIC」の活動では、販売実習において商品の原価と販売価格を調べて経済の仕組みを学んだほか、商標登録を予定しているマスコットキャラクターがあることを踏まえ、外部講師を招いて商標登録によるトラブル防止などを学びました。

この2年間で生徒たちは、お金に関わる問題について、消費者としての立場からどのように判断し行動することが求められるのか、身近な事例を通してよく学び理解を深めることができました。生徒たちにはこの研究期間で学んだことを生かし、より豊かな人生を送るために主体的に考え、学び続けて欲しいと思います。

(注)「MAGIC」とはMultiplied-education (連携) by Agricultural (農業), General (普通科), Industrial (工業) and Commercial (商業)の略。